

逆接を表す接続詞の日中対照研究 —「けど」と「但是 (danshi)」を対象に—

A contrastive study of contrastive conjunctions in Japanese and Chinese conversation: A case study on *kedo* and *danshi*

胡 蘇紅・方 梅
HU SUHONG · FANG MEI

Kedo and *danshi* are frequently used as an adversative conjunction in Japanese and Chinese conversation. They are usually regarded as synonymous words. Based on spontaneous conversation, this paper compares the use of *kedo* and *danshi* in spoken Japanese and Chinese. It is found that, both *kedo* and *danshi* can be used as adversative conjunction and discourse marker, but *kedo* can also be used as a connective particle or a sentence final particle, which is not equivalent with *danshi* in Chinese. When *kedo* is used as a conjunction in an inverted sentence, it can be regarded as a synonymous word with *suiran*. When it is used as a conjunction expressing introduction, it does not have synonymous words in Chinese. When it is used as a connective or a discourse marker, it differs from *danshi* in terms of frequency of use, although it is semantically equivalent with *danshi*. When *kedo* is used as a sentence-final particle, it also does not have synonymous words in Chinese.

キーワード 接続詞 けど 但是 話し言葉

Keywords conjunctions, *kedo*, *danshi*, spoken conversation

1. はじめに

日本語では、例 (1)のように、文頭において、前の語句や文とのつながりを示す働きを持つものを「接続詞」と呼び、語と語、節と節(例 (2))を接続する助詞を「接続助詞」と呼んでいる(益岡・田窪 1992: 57-58, 51)。例 (1)と例 (2)の「けれども」は逆接を表している。

(1) 彼は悔しかった。けれども、何も言わなかった。

(益岡・田窪 1992: 57, 一部修正追加¹⁾)

(2) ベルを押したけれども、返事がなかった。

(益岡・田窪 1992: 52, 一部修正追加)

中国語では、語と語、語句と語句、節と節、文と文のつながりを示す働きを持つものを「連詞」と呼んでいる(杨伯峻・何乐士 2001: 453)。「但是 (danshi)」は日常会話でよく用いられる逆接

を表す連詞である。「但是 (danshi)」は例 (3) のように、「虽然 (suiran)」とペアになって用いられる場合もあるが、前の文と後ろの文の間に因果逆接の関係がないときは「虽然 (suiran)」を省略することができる (劉天宇・李光赫 2016: 5)。

(3) 声音虽然低沉，但是坚强有力。

(声は低いが力強さがある。)

(呂叔湘 1983: 74, 一部修正追加)

辞書や教科書では、「けど」(「けれども」「けれど」「けども」を含む)と「但是 (danshi)」は同じものとして扱われている。例えば：

(4) けど [接] 然而，但是

[接助] ①(表示转折或反转) 然而，但是

②仅接上下文不表任何意义

(アクセス中日・日中辞典 第二版: 215, 一部修正追加)

これまで、多くの研究者が「けど」と「但是 (danshi)」それぞれの用法について、文末用法、談話標識 (discourse markers)²などの観点から考察してきた (三枝 2007、白川 2009、方梅 2000, 2012, 2018、姚双云 2012)。逆接を表す接続詞に関する日中対照研究には陳 (1993)、玄 (2013)および劉天宇・李光赫 (2016)があるが、話し言葉のデータを用い考察した研究は管見の限りない。

そこで、本研究では、『名大会話コーパス』³と『BTSJ』による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版』(以下『BTSJ』)⁴および中国語話し言葉のデータ (以下『大財』)⁵を用い、話し言葉における「けど」と「但是 (danshi)」の相違点を明らかにすることを目的とする。

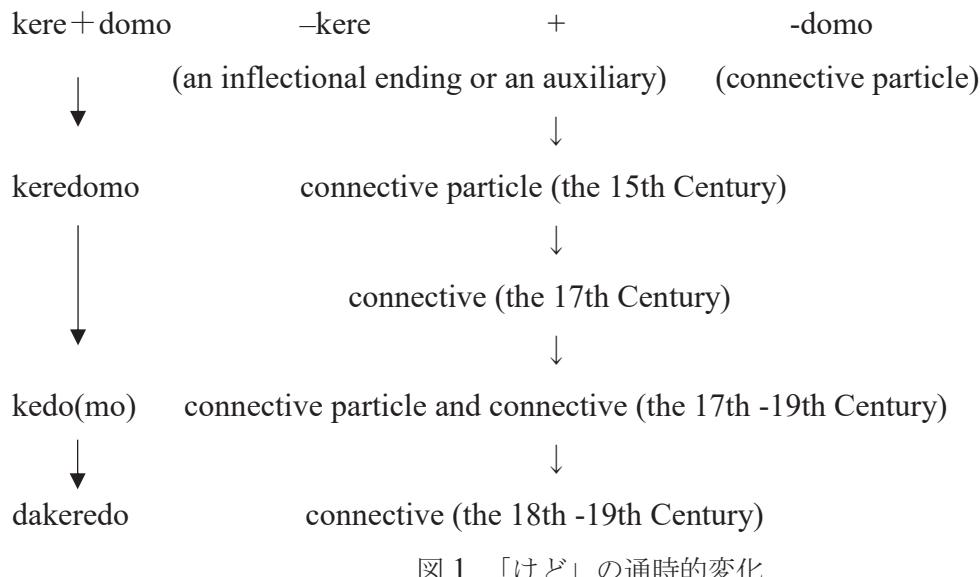
2. 先行研究

2.1 日本語の「けど」に関する先行研究

2.1.1 「けど」の語源

「けど」は「けれども」のくだけた表現である (日本語記述文法研究会 2008: 258)。「けれども」は中世末、形容詞活用の已然形語尾に接続助詞「ども」が付いてできたもの。近世前期になり、くだけた感じを伴う「けれど」「けど」が生じ、後期には、「けども」が成立した (『大辞泉 第二版』: 1150)。宮内 (2012: 44-45) と丸山 (2014: 412-415) は、「けど」は書き言葉よりも話し言葉において頻繁に用いられるとしている。また、Matsumoto (1988) が述べている「けど」

の形式と機能に関する通時的変化は図 1 のようにまとめられる。



日本語の「けど」には接続助詞、接続詞、終助詞の用法がある（国立国語研究所 1951: 43-50）。「けど」は用法によって具体的な使用範囲が違う。接続助詞の「けど」は従属節と主節をつないでいる。一方、接続詞の「けど」は文と文をつないでいる（益岡・田窪 1992: 52, 57）。そして、終助詞の「けど」は文末に現れ、従属節を主節化し、「言いさし文」を構成している（堀江 2014: 684、白川 2009: 15-35）。以下に示すように、用法によって「けど」の意味機能は異なる。

2.1.2 接続助詞の「けど」

「けど」は従属節と主節を接続する助詞として、従属節の末に現れ、対比、逆接、譲歩、前置きという四つの意味を表す用法を持つ（日本語記述文法研究会 2008: 259）。

(i) 対比

対比の「けど」は、「何らかの意味で主節と対比的な内容を表す」（日本語記述文法研究会 2008: 259）。例えば、例 (5)では、「サメは魚類だ」と「クジラは哺乳類だ」と対比されている。例 (5)の従属節 A における「けれど」は従属節 A と主節 B の対比関係を示す機能を持つと考えられる。

(5) A サメは魚類だけれど、B クジラは哺乳類だ。

（日本語記述文法研究会 2008: 259, 一部修正追加）

(ii) 逆接

逆接の「けど」は、「従属節の事態の帰結として予想あるいは期待される事態が、従属節の事態の成立にも関わらず起こらないことを表す」(日本語記述文法研究会 2008: 260)。例えば、例 (6)では、A 「宝くじを毎回買っている」は従属節で、B 「ちっとも当たらない」は主節である。宝くじを毎回買っている事態から予想される事態は「当たる」だろう。しかし、主節事態はそれと対立関係になる「当たらない」である。そこで、例 (6)の「けど」は従属節と主節の逆接関係を示す用法であると考えられる。

(6) A 宝くじを毎回買っているけど、B ちっとも当たらない。

(日本語記述文法研究会 2008: 260, 一部修正追加)

(iii) 譲歩

譲歩の「けど」は、「主節で述べる判断・評価とは逆方向の内容を示して、それを認めたうえで主節の内容を主張する」(日本語記述文法研究会 2008: 260)。例えば、例 (7)では、A 「交通は不便だった」が従属節、B 「いい民宿だった」は主節である。「けど」は従属節の末に現れ、接続助詞として使われている。まず、従属節で交通は不便である事実を認め、それから主節でいい民宿であることを主張している。例 (7)の「けど」は従属節と主節の譲歩関係を示す機能を持つと考えられる。

(7) A 交通は不便だったけど、B いい民宿だった。

(日本語記述文法研究会 2008: 260, 一部修正追加)

(iv) 前置き

前置きの「けど」は、「節の内容が主節の内容を言うための前置きであって、その文で本来言いたいことそのものではないことを示す」(日本語記述文法研究会 2008: 261)。例えば、例 (8)では、A 「さっきの話」は従属節、B 「もう 1 度考え方直してくれないかな」は主節である。本来言いたいのは「さっきの話」のことではない。「もう 1 度考え方直してくれないかな」というお願いをすることが本来の目的である。従属節 A の機能は話題を提起することである。例 (8)の「けど」は前置きの機能を持つと考えられる。

(8) A さっきの話だけど、B もう 1 度考え方直してくれないかな。

(日本語記述文法研究会 2008: 261, 一部修正追加)

2.1.3 接続詞の「けど」

接続詞の「けど」は接続助詞やそれに相当する表現から転じたものであり、文頭に現れる（例

(9)、益岡・田窪 1992: 57-58)。接続詞の「けど」は前後内容の対立関係を表す（日本国語大辞典 第二版: 1439）。

(9) 彼は悔しかった。**けれども**、何も言わなかつた。【接続詞】

(=彼は悔しかつた**けれども**、何も言わなかつた。) 【接続助詞】

(益岡・田窪 1992: 57-58, 一部修正追加)

2.1.4 終助詞の「けど」

これまで、多くの研究者が語用、認知などの観点から「けど」の終助詞用法について考察してきた。例えば、三原 (1995)、白川 (1996, 2009)、内田 (2001)、許 (2004)、Kato (2013)、胡・堀江 (2018)などである。例えば、例 (10)では、「けど」の対立を表す機能がなくなり、話し手の意図を婉曲に表し、言葉の勢いを和らげる表現効果が生じる。

(10) [早苗が入ってくる]

早苗 「失礼します。会議が、もう始まるそうですけど……」

正樹 「え？ (と、時計を見る) あ…… (忘れていたのだ)」

(白川 2009: 31-32, 一部修正追加)

2.1.5 談話標識の「けど」

胡 (2019)は『名大会話コーパス』を用い、話し言葉における「けど」と「だけど」の相違点を考察し、「けど」には接続詞の用法から拡張されてきた「話題転換」(例 (11))、「発話権を取る」(例 (12))、「ターンを維持する」(例 (13)) という談話標識の用法があると論じている。

(11) F112 : え、うんうん。8月の方が暑いよ。

F134 : 暑い? ほんとよかったです。

F112 : お盆のころが。

F134 : 一番暑いの?

F112 : あ、うん。お盆過ぎたら涼しくなるけど。

F134 : けど、バイト先の店長が一、(うん) 海に行くって言ったけど、海に行くとき、まあ7月末じゃないと (うん) 水入れないよ。

(名大会話コーパス, data125)

(12) F112 : でもさ、アメリカ行って生活できると思わない?

F134 : え。でも、アメリカの人、お風呂入るんでしょ。

F112：入るか、一応。（一応？）そんなに、そんなにまじ、まじめに入んないんじやん、うちらほど。

F134：けど、なんか、中国行ったとき、お風呂、3日に1回とかだったんだ。

F112：ああ、十分生きてけるなあ。＊＊＊たちは。

F134：けど一、うん、生きて、なんか日本みたいに湿気ないから一。

F112：ああ、そつか。その違いがあるのか。

(名大会話コーパス, data125)

(13) F128：＊＊＊行きたいと思っても、行けないかもしないしね。（そうそうそうそう）ここもさ、今年すご、結構多いでしょう、（ふーん）受けるの。けど、で、募集っていうか、ほんとに通るのは少ないだろうし。（うん）うん。

(名大会話コーパス, data098)

2.2 中国語の「但是 (danshi)」に関する先行研究

2.2.1 「但是 (danshi)」の語源

呂叔湘 (1990: 343)から、「但是 (danshi)」は古典中国語の「但 (dan)」の拡張用法であることが分かった。また、呂叔湘 (1990: 345)および陈霞村 (1992: 562-566)から、古典中国語では、「但 (dan)」は保留、制限、範囲を表す副詞であり、漢魏から連詞として使われ、弱い逆接を表してきたことが分かった。さらに、「但是 (danshi)」は「但 (dan)」と「是 (shi)」この二つの单音節の単語からなり、二音節の単語になって副詞として使われ、唐の後期から逆接を表す連詞として使われ始めた (丁焴 2010: 56)。

2.2.2 連詞の「但是 (danshi)」

現代中国語において、連詞としての「但是 (danshi)」は、前述内容との対立関係 (例 (14))、前述内容への補足説明 (例 (15)) を示す (呂叔湘 1999: 147)。書き言葉における「但是 (danshi)」について、多くの研究者が考察している。例えば、邢福義 (2001)、程曉明 (1998)、楊月蓉 (2000)、丁焴 (2010)などである。呂叔湘 (1999: 147)は「但是 (danshi)」が節と節、文と文をつなげるのみならず、語と語 (例 (16))、段落と段落をつなげ、「但是 (danshi)」の後ろの内容を強調すると論じている。

(14) 我虽然学了三年汉语，但是听北京的相声还是有困难。

(中国語をもう3年勉強したが、北京の漫才を理解するのはまだ難しい。)

(呂叔湘 1983: 74, 一部修正追加)

(15) 我们说，帮助也可以，但是有条件的。

(助けてもいいけど、条件があると私たちは言った。)

(姚双云 2012: 179, 一部修正追加)

(16) 我喜欢素净**但是**明朗的花色。

(私は地味ではあるけど明るい色柄が好きです。)

(吕叔湘 1999: 147, 一部修正追加)

2.2.3 談話標識の「但是 (danshi)」

日常会話において、「但是 (danshi)」には論理的意味を表す連詞の用法のほかに、論理的意味を表わさず、手続き的意味のみを表す談話標識の用法がある。方梅 (2000)は話し言葉において、意味が薄まった連詞を談話標識と呼ぶ。「但是 (danshi)」は談話標識として用いられている用例の数が用例数全体の 33.3%であり、「話題転換」、「turntaking」機能を果たす (方梅 2000: 462, 468、方梅 2018: 254, 266)。また、謝心阳・方梅 (2016)から、談話標識の「但是 (danshi)」の機能には「ターンを維持する」機能 (例 (17)) もあることが分かった。

(17) 就所有的这些问题都在你脑袋里头, **但是**, 有点生气, 就觉得这么一个国家, 这么, 人, 这么三十年过来, 都大家很努力的去工作, 到最后空气这个东西的话, 得来的就是少活十六年?

(こういうことはみんな知ってるけど、実に腹ただしいじやありませんか、こういう国で、誰もが皆、30 年もあくせく働いてきて、そのご褒美がこの空気だなんてあんまりですよ、この空気のせいで寿命が 16 年も縮まるんですって?)

(謝心阳・方梅 2016: 239-240, 一部修正追加)

連詞と談話標識として用いられている「但是 (danshi)」は日本語の「けど」に直訳することができる。しかし、詳しく見ると、逆接を表す連詞である「但是 (danshi)」は接続詞の「けど」に相当するが、譲歩を表す連詞である「虽然 (suiran)」は倒置文で用いられる接続助詞の「けど」に相当する。つまり、日本語の「けど」と中国語の「但是 (danshi)」は品詞とコロケーションにおいて、違いがあると思われる。

3. 「けど」と「但是 (danshi)」の相違点

3.1 「けど」と「但是 (danshi)」の対照に関する先行研究

陳 (1993)は翻訳小説を用い、中国語の「但是 (danshi)」を日本語に翻訳するときにどの単語と対応するのかを考察した。陳 (1993: 56)は、前後内容の論理関係が誤解されにくいときにあまり「但是 (danshi)」を使わないと論じている。例えば、例 (18)では、「冬休みに入る」とことと「何か予定ある」との論理関係がはつきりしているため、中国語の文には「但是 (danshi)」は使われ

ていない。しかし、日本語の文には「けど」が使われている。この「けど」は前置きの機能である。

- (18) 「○○，就要放寒假了，你有什么打算吗？」
 (「○○さん、もうじき冬休みに入るけど、何か予定ある？」)
 (陳 1993: 53, 一部修正追加)

陳 (1993)は対訳データを用い、「但是 (danshi)」と「けど」の対応関係を考察し、対応していない場合があると指摘しているが、品詞別に細かく考察していない。

3.2 接続助詞の「けど」と「但是 (danshi)」の相違点

2.1.2 節で言及したように、「けど」が接続助詞として用いられる場合には、対比、逆接、譲歩、前置きの四つの用法がある。「けど」が接続助詞として用いられている文を中国語に翻訳する場合、例 (19)のように、しばしば「但是 (danshi)」として翻訳される。しかし、接続助詞としての「けど」が倒置文で用いられる場合には「但是 (danshi)」ではなく「虽然 (suiran)」に対応しており、前置きを表す場合には対応する中国語はない、と本論文は主張する。

- (19) 「はじめ水上さんは、いまそういうことは考えられないと断ったそうだけど、弁護士や弟子の話を聞いているうちに次第にその気になってきたらしいわ。」(旅行)
 (「听说，开头水上先生拒绝了，说他目前还不考虑结婚。但后来听了律师和弟子们的劝告，才渐渐接受。～」)
 (陳 1993: 54, 一部修正追加)

3.2.1 「虽然 (suiran)」に対応する「けど」

接続助詞の「けど」が倒置文で用いられる場合には、中国語の「虽然 (suiran)」に対応する。理由は以下のとおりである。

倒置文において、「けど」と「虽然 (suiran)」は両方とも補足説明の機能を果たす。この場合、主節には「でも」「けど」や「但是 (danshi)」が現れない。具体的には、例 (20)において、M4はM5に前回の給料をくれたかどうかについて聞いている。M5は「くれた」と答えた後、「虽然 (suiran)」で始まる従属節において「タイプミスをした」という補足情報を提供している。同じように、例 (21)では、A「買って飲んでるとか言って」は主節、B「高い」は従属節である。一般的な語順は「高いけど、買って飲んでるとか言って」である。倒置文における「けど」は情報補足を明示する機能である。それに対応する中国語の文では、a「说是买来喝」は主節、b「虽然贵」は従属節である。一般的な語順は「说是虽然贵，(但是)还是买来喝」になる。倒置文になると、

従属節の「虽然貴」は情報補足の機能を持つ。もし例(22)のように、「但是 (danshi)」に翻訳すると、全く逆の意味になる。

(20) M4 : 那他上次给你钱了吗？

(では、前回彼はあなたに給料をくれたの？)

M5 : 给了呀，**虽然我最后输错了。**

(くれたよ。私、最後にタイプミスをしたんだけど。)

(『大財』)

(21) 01 F107 : どこも見てないとかって言って。<笑い>なんかね、そういうえば J のだんなさんさあ、ミュージシャンなんだって。

02 F128 : えー、聞いた。聞いた。

03 F107 : ドラマーで。ほんと日本茶が大好き。<笑い> (そうなんだ) おいしかったの。

J が買ってきた日本茶がうまかったとか言って。

04 F023 : A 買って飲んでるとか言って、B 高いけど。

(01 F107 : 说是在哪里也没看见。(笑) 那个, 话说 J 的老公, 是个音乐家。

02 F128 : 嗯, 听说了, 听说了。

03 F107 : 是个鼓手。而且特别喜欢日本茶。(笑)(是嘛) 很好喝。他说 J 买来的日本茶很好喝。

04 F023 : a 说是买来喝, b 虽然贵。)

(名大会話コーパス, data002, 一部修正追加)

(22) a 说是买来喝, b 但是贵。

(a 買って飲んでるとか言って、b でも高い。)

3.2.2 前置きの「けど」

「けど」は接続助詞として用いられている時に、前置きを表す用法を持つ。この時に、中国語では対応する語が不要の場合が多い。例えば、例(23)では、A 従属節と B 主節の間には対立関係がなく、順接関係である。この場合の「けど」は「虽然 (suiran)」や「但是 (danshi)」に対応していない。この点は陳(1993)の結論と同じである。

(23) J3 : A 「J1 の在籍大学名」って私、行ったことないんですけど、B どうやって行くんですか？

(J3 : a 我没有去过「J1 所在的大学名」, b 怎么去呢?)

(BTSJ, data252, 一部修正追加)

3.3 接続詞の「けど」と「但是(danshi)」の相違点

接続詞としての「けど」は「但是 (danshi)」と同様、前後内容の対立関係、補足説明を表す機能を持つ。また、両方ともポーズや終助詞を後接できる。例えば、例 (24)では、F157 は A という文において、「白い花」を提起している。B という文の文頭に接続詞の「けど」を用い、「くさい」という情報を補足している。

(24) F157 : うん、A 白い花、白い花。B けど、くさいよ。

F157 : 嗯，a 白色的花，白色的花。 b 但是，很难闻。

(名大会話コーパス, data118, 一部修正追加)

しかし、中国語の「但是 (danshi)」は連詞として語と語を接続して修飾成分になれる。例えば、例 (25A)では、「素净 (地味)」と「明朗 (明るい)」は「花色 (色柄)」を修飾する形容詞である。「但是 (danshi)」は「素净 (地味)」と「明朗 (明るい)」を接続して、一緒に「花色 (色柄)」を修飾する。それに対して、日本語の「けど」は接続詞として語と語を接続することができない(例 (25B))。語と語を接続できるのは接続助詞である「けど」の機能である(例 (25C))。

(25) A 我喜欢素净但是明朗的花色。○

B 私は地味ではある。けど明るい色柄が好きです。【接続詞】×

C 私は地味ではあるけど明るい色柄が好きです。【接続助詞】○

(呂叔湘 1999: 147, 一部修正追加)

3.4 終助詞の「けど」と「但是 (danshi)」との相違点

本文の2.1.4 節で言及したように、「けど」は従属節の末に現れ、次第に「けど」で終わる従属節のみで主節になる終助詞の用法が生まれた。中国語の「虽然 (suiran)」と「但是 (danshi)」は節頭に現れるので、このような終助詞的用法はない。例 (26)の「けど」の後に終助詞「ね」があり、後の会話には主節になれる成分がないため、こここの「けど」は終助詞用法である。「こういう電車があつたらいいんだけどね」は従属節ではなく主節であり、話し手の願望を婉曲に表す機能を果たしている。この日本語の文に対応する中国語の文には「虽然 (suiran)」と「但是 (danshi)」のような接続詞が使えない。

(26) F114 : なるほど、(そう) この辺、近いんだ。

F137：うん。この辺さ、何かもっと、縦のさー、(うん) A こういう電車があったらしい
んだけどね。

F114：そそうそそうそそう。この辺ねー、全然行かないんだよね、(そ) 使わないの。
 (うん) だから遠いイメージあるけど、(うーん、近いねー) うん、直接移動だと近
 い。

(F114：原来如此，(嗯) 这附近，很近。

F137：嗯。这附近呀，那个再，纵向，(嗯)，A 要是有这样的电车就好了。

F114：嗯嗯嗯嗯嗯。这附近呀，完全不走呢，(嗯) 不用。(嗯) 因此，虽然感觉挺远，(嗯
 -，很近啊) 嗯，直接移动的话很近。)

(名大会話コーパス，data066，一部修正追加)

3.5 談話標識の「けど」と「但是 (danshi)」との相違点

「けど」と「但是 (danshi)」は両方とも逆接を表す接続詞から談話標識へ変化してきた傾向がある。「但是 (danshi)」は「けど」より日常会話で談話標識としての使用頻度が高い。具体的には、「但是 (danshi)」が談話標識として用いられている用例は全体の 33.3%であり（方梅 2000: 462）、「けど」が談話標識（表 1 の下線部、Interpersonal の機能を表すもの）として用いられている用例は全体の 21%である（胡 2019: 407）。

表 1 「けど」の自然会話における使用（胡 2019: 407 表 3 一部分引用）

Ideational	Textual	Interpersonal	合計
19 (50%)	11 (29%)	8 (<u>21%</u>)	38 (100%)

4. 結論

本稿は、日本語の「けど」と中国語の「但是 (danshi)」を比較し、両者の相違点をまとめた。相違点は以下の通りである。

(1) 「けど」は「但是 (danshi)」より用法が複雑である。「けど」と「但是 (danshi)」は両方とも逆接を表す接続詞と談話標識の用法を持つ。しかし、そのうえに、「けど」は接続助詞と終助詞の用法を持つ。

(2) 「けど」が逆接を表す接続詞と談話標識として用いられている場合には、中国語の「但是 (danshi)」に対応する。しかし、接続助詞として倒置文で用いられている場合には中国語の「虽然 (suiran)」に対応する。前置きなどの順接関係を表す場合および終助詞用法の場合には対応する中

国語の形式はない。

(3) 逆接を表す連詞として、「但是 (danshi)」は語と語を接続し、修飾成分になれる。それに対して、接続詞の「けど」はこのような用法を持っていない。

本研究により、日中両言語の逆接を表す接続表現の対照研究に新たな分析の視点（特に品詞ごとの分析および自然会話データの使用）が取り入れられることが期待される。

5. 注

(1) 本稿におけるすべての下線とボールドなどの修正・編集は筆者によるものである。

(2) 談話標識 (discourse markers) : Fraser (1996)、Schiffrin (1987)、Blakemore (1987)の定義に基づき、本研究での談話標識を論理的意味を持たず、なくても発話の成立と命題的意味に影響を与えない手続き的意味を持つ独立した表現であると定義する。方梅 (2000, 2018) は談話標識の機能には“discourse organizing”と“speech acting”があり、“discourse organizing”を“foregrounding”と“topic switch”に、“speech acting”を“turn taking”と“turn holding”に分類している。

(3) 『名大会話コーパス』: 科学研究費基盤研究「日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究」の一環として作成された、約100時間の雑談を収録して、文字化したデータである (藤村・大曾・大島 2011)。

(4) 『BTSJ による日本語話し言葉コーパス(トランスクリプト・音声)2011 年版』(以下『BTSJ』) : 宇佐美まゆみ監修。本コーパスには、294 会話、総時間 4000 分 31 秒 (約 66 時間) の会話が収録されており、そのうち音声付きデータは 136 会話、1164 分 43 秒 (約 20 時間) である。このコーパスには、日本語母語話者と日本語学習者のデータが含まれている。本研究で用いたのは日本語母語話者のデータである。

(http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj_corpus_explanation.htm)

(5) 筆者が 2018 年に中国大連財経学院で収集した大学生 (10 代後半から 20 代、友人同士) の日常会話データ (録音・録画) である。合計 116 人 (男 41 人、女 75 人)、58 組の会話 (1 組 2 人)、総時間 32 時間 1 分 56 秒である。ここで協力者に感謝する。

6. 参考文献

Blakemore, Diane. (1987) *Semantic Constraints on Relevance*. New York: Basil Blackwell.

陈霞村 (1992)《古代汉语虚词类解》太原：山西教育出版社.

陳美玲 (1993)「日本語の「けど」「が」と中国語の“但是”系の比較研究：翻訳小説を例として」『言語文化と日本語教育』6: 47-58.

程晓明 (1998)《转折句式与转折词》,《湖北民族学院学报（社会科学版）》16 (4) : 36-40.

丁烨 (2010)《谈汉语“但是”的语法化》,《宁夏大学学报（人文社会科学版）》32 (2) : 56-59.

- 方梅 (2000)『自然口语中弱化连词的话语标记功能』,《中国语文》(5): 459-480.
- 方梅 (2012)『会话结构与连词的浮现义』,《中国语文》(6): 500-508.
- 方梅 (2018)『浮现语法: 基于汉语口语和书面语的研究』北京: 商务印书馆.
- Fraser, Bruce. (1996) Pragmatic Markers. *Pragmatics* 6 (2): 167-190.
- 藤村逸子・大曾美恵子・大島デイヴィッド義和 (2011) 「会話コーパスの構築によるコミュニケーション研究」藤村逸子・滝沢直宏編『言語研究の技法—データの収集と分析』43-71.東京: ひつじ書房.
- 玄宜青 (2013)「「が」と“但是”“可是”的接続機能の比較』『異文化論文編』14: 91-102.
- 堀江薰 (2014)「主節と従属節の相互機能拡張現象と通言語的非対称性—日本語と他言語の比較を通じて—」益岡隆志・大島資生・橋本修・堀江薰・前田直子・丸山岳彦編『日本語複文構文の研究』673-694. 東京: ひつじ書房.
- 許夏玲 (2004)「語用論の観点から見た文末表現の使用:「ケド」を例にして」『東京学芸大学紀要. 第2部門 人文科学』55: 59-65.
- Kato, Shigehiro (2013) Insubordination types in Japanese -What facilitates them? *Asian and African Languages and Linguistics* 8: 9-30. ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies.
- 胡蘇紅 (2019)「逆接を表す接続詞から談話標識へ:「だけど」と「けど」における機能拡張」『日本認知言語学会論文集』19: 401-413.
- 胡蘇紅・堀江薰 (2018)「話し言葉の文末における「が」「けど」の談話機能: 認知・機能的観点から」『日本認知言語学会論文集』18: 419-430.
- 国立国語研究所 (1951)『現代語の助詞・助動詞: 用法と実例』東京: 秀英出版.
- 刘天宇・李光赫 (2016)『日语转折复句的日汉对比实证研究: ノニ与“但”的对应关系』, 『外语教育研究』4 (3): 1-7.
- 吕叔湘 (1983)『現代中国語用法辞典』東京: 現代出版.
- 吕叔湘 (1990)『呂叔湘文集 第一卷 中国文法要略』北京: 商务印书馆.
- 吕叔湘 (1999)『现代汉语八百词 增订本』北京: 商务印书馆.
- 益岡隆志・田窪行則 (1992)『基礎日本語文法改訂版』東京: くろしお出版.
- Matsumoto, Yo. (1988) From Bound Grammatical Markers to Free Discourse Markers: History of Some Japanese Connectives. *Proceedings of the Fourteenth Annual Meeting of the Berkeley Linguistics Society*: 340-351.
- 松村明 (監修) (2012)『大辞泉 第二版』(小学館大辞泉編集部編集) 東京: 小学館.
- 丸山岳彦 (2014)「現代日本語の連用節とモダリティ形式の分布: BCCWJに基づく分析」益岡隆志・大島資生・橋本修・堀江薰・前田直子・丸山岳彦編『日本語複文構文の研究』399-425. 東京: ひつじ書房.
- 三原嘉子 (1995)「接続助詞ケレドモノの終助詞的用法に関する一考察」『横浜国立大学留学生セン

タ一紀要』2: 79-89.

宮内佐夜香 (2012) 「接続助詞とジャンル別文体的特徴の関連について：『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を資料として」『国立国語研究所論集』(3) : 39-52.

日本語記述文法研究会 (2008) 『現代日本語文法 6 第11部 複文』東京：くろしお出版.

日本国語大辞典第二版編集委員会・小学館国語辞典編集部(編) (2001) 『日本国語大辞典 第二版 第四卷』東京：小学館.

王萍ほか (編) (1999) 『アクセス中日・日中辞典第二版』東京：三修社.

三枝令子 (2007) 「話し言葉における「が」「けど」類の用法」『一橋大学留学生センター紀要』10: 11-27.

Schiffrin, Deborah. (1987) *Discourse Markers*. Cambridge: Cambridge University Press.

白川博之 (1996) 「「ケド」で言い終わる文」『広島大学日本語教育学科紀要』6: 9-17.

白川博之 (2009) 『「言いさし文」の研究』東京：くろしお出版.

内田安伊子 (2001) 「『けど』で終わる文についての一考察：談話機能の視点から」『日本語教育』109: 40-49.

谢心阳・方梅 (2016) 《汉语自然口语中弱化连词的韵律表现》，《互动语言学与汉语研究第一辑》225-245.

邢福义 (2001) 《汉语复句研究》北京：商务印书馆.

杨伯峻·何乐士 (2001) 《古汉语语法及其发展 修订本》北京：语文出版社.

杨月蓉 (2000) 《“但是”与“却”的相容性和相斥性—兼论转折句的语义关系》，《中国语文》(2) : 109-113.

姚双云 (2012) 《自然口语中的关联标记研究》北京：中国社会科学出版社.